

12月議会 笹倉みどりの一般質問より

市の広報物や案内表示を 改めてジェンダー平等の視点でチェックすべき

学校給食についてのお知らせが小中学生の保護者宛てに配布・配信されました。そこに使われていたイラストは童顔の女性の胸が大きく強調されたもので「給食とは関係ないし不愉快だ」との声をいただきました。すぐに指摘したところ、イラストは差し替えられました。その他にも以下の点を一般質問で指摘し改善を求めました。

○市役所の立体駐場内の案内文に「…総合案内の女性に…」とわざわざ性別を示している。(その後、すぐに削除されました)

○広報まちだの「子どもにやさしいまち条例」の記事に添えられた保護者へのインタビュー写真が、母親のみとなっている。

これらの例は、社会的、文化的につくられた「男らしさ」「女らしさ」=ジェンダーに基づくステレオタイプな表現であり、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）から来るものです。このような固定概念が男女（あらゆる性自認含め）の「生きにくさ」につながっていることを自覚してほしいと思います。

ガイドラインとチェックリストは、町田市にもあるが

市によると、刊行物を発行する際や日常業務で留意すべき点をまとめた「ガイドライン」「チェックリスト」があり、全職員に共有されているとのこと。しかし、市の広報物に性差別的な表現と捉えら

れるものを無意識に使用している例を見ると、そのガイドラインが実際に活用されているのか疑問を感じます。

ガイドラインを市民や事業者に対して公開し、市としての姿勢を示すべきではないかと要望しました。

みどりのつぶやき



生成AIの利活用と自治体DXについて議員研修を受けました。おもしろそう、と無料の生成AIを使って文章作りに早速挑戦。注文すれば次から次へと立派な文章ができて上がります。AIは人間の脳の持つ柔軟性・経験・直感など、とても複雑で豊かな思考を模倣し生成しますが、完全に再現することはまだできません。このデジタル社会をあなたはどのように生きていきますか。(この文章は一部、生成AIで作成しました)

※生成AI（人工知能を活用してテキストや画像、音声、動画などを作成する技術）、DX（デジタルトランスフォーメーション、デジタル技術を活用し変革すること）

小中学校給食の無償化が実現へ

東京都の補助金を活用し、2025年1月から完全無償化が実現。全小学校と、一部の中学校（給食が始まった堺エリア・鶴川エリア）は給食費の請求がありません。まだ給食センターが稼働していない地域では、ランチボックスの給食を注文することができます。こちらと同じように、2025年1月から入金不要でランチボックスを注文できますが、提供数に限りがあります。提供できない場合は自宅から弁当持参となり、給食費相当額が補助されます。アレルギー、疾病、宗教上の理由で給食を食べられない場合も補助金の対象です。

国立、私立、各種学校に通う子どもや不登校の子どもたちは対象ではありません。今後の検討課題とすべきです。



2025年4月、学びの多様化学校が始まります

急増する不登校児童生徒の学びの場を確保するとして、山崎中学校分教室型学びの多様化学校が教育センターに今年4月に開設され、12名が入室予定です。6月以降は（仮称）こども・子育てサポート等複合施設の仮設施設へ移転する予定。

公式 LINE に登録をお願いします



活動報告やオンラインおしゃべり会「みどりとねっこ会議」の情報をお届けします。左の二次元コードを読み込んで、友だち登録をお願いします。

町田・生活者ネットワークの…

議員は交代制

議員は議員報酬の一部を生活者ネットワークに寄付し、市民の政治活動に活かします

選挙はカンパとボランティアで
郵便振替口座 00170-1-411651
町田・生活者ネットワーク

カンパを
受付中です!

